



丹波地域 産学官民 プロジェクト



オンライン移住相談
(丹波市)



ドローンによる農業散布
(丹波篠山市)



廃校舎のオフィスで
働くIT起業家
(丹波篠山市)



女性のための
スキルアップセミナー



平成29年度
丹波ものづくり大賞
LED投光器 モジュールタイプ
(パナソニックライティングシステムズ
株式会社)



グリーンスローモビリティ
実証実験
(丹波篠山市)



移住者と地元の交流会
(丹波市)

山間部での
空飛ぶ自動車による
移動イメージ
(経済産業省HP)



Access

丹波の森公園へのアクセス



●電車でお越しの方

・JR福知山線柏原駅から徒歩約15分

●お車でお越しの方

・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道176号を福知山方面へ約25分

・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、県道柏原青垣線、国道176号線を丹波篠山方面へ約15分

お問い合わせ・お申込み



兵庫県 丹波県民局

TEL:0795-88-5045



お申込みは
←こちらから



Innovation from Tamba



Silitan Valley Project

— 丹波地域 産学官民 プロジェクト —

基調講演

演題 素人のように考え、玄人として実行する(仮題)

金出 武雄氏 (カーネギーメロン大学 ワイタカー冠全学教授)



Profile

1945年(昭和20年)丹波市(旧春日町)生まれ。丹波篠山市在住。県立兵庫高校を経て、京都大学工学部、同大学院電子工学科博士課程修了。京都大学助教授、カーネギーメロン大学ロボティクス研究所所長などを歴任。2016年(平成28年)京都賞(先端技術部門)、2019年(令和元年)文化功労者など。学士院会員。

日時

2022
2/17thu

開始 13:20~16:40(入場開始13:10)
会場 丹波の森公園 多目的ルーム

シリ丹バレー推進協議会

設立記念セミナー

2022.2.17 thu 会場 丹波の森公園 多目的ルーム
開始 13:20~16:40(入場開始13:10) 締切 2/15(火)

コロナ禍のなか、時間や場所にとらわれない新しい働き方、暮らし方が浸透し、地方回帰の流れが確かなものになりつつあります。それに伴い、大都市に近接するも、自然豊かな丹波は、新しいライフスタイルの創造が可能で「希望の地」として注目を浴びようとしています。この機を活かすべく、丹波の産学官民が一体となって内外の力を結集して地域発イノベーションを推進する「シリ丹バレー構想」をスタートするため、「シリ丹バレー推進協議会」を設立し、総会及び設立記念セミナーを開催します。

About TAMBA構想

丹波地域では、産学官民が一体となって内外の人の力を結集し、地域発のイノベーションを推進するイニシアティブがスタートすることになりました。これは未来志向の構想・プロジェクトであり「シリ丹バレー」という名のプラットフォームです。オープンイノベーションの場を創出し、異質な人同士の出会い・交流を促進し、開かれたビジネス環境、イノベーションの創出に取り組みます。



テーマI 地域産業のDX化

農林業の効率化・省力化等を事例に



山口 圭司さん
株式会社マブリア代表取締役

奈良県生まれ。ソフトウェア開発のベンチャーで上場準備等を経験後、丹波市春日町に1ターン。地理情報システムやアプリケーションの開発・提供をする傍ら、有機農園とカフェレストランを運営

産 IT DX



山本 章平さん
島根県雲南市
農林振興部
林業畜産課主幹技師

丹波市生まれ。大学院修了後、農林水産省勤務を経て、2007年雲南市役所入庁。林業・鳥獣・バイオマスや地域振興担当を経て、2020年度より林業振興を担当

官 テクノロジー

テーマII ポストコロナ時代の新しい働き方 (マルチワーク、リモートワーク、ワーケーション等)



安達 鷹矢さん
株式会社Local PR Plan
代表取締役

大阪府生まれ。大手ECモール企業のコンサルタント職を経て丹波篠山に1ターン。NOTEでの古民家再生、丹波県民局での地域PR業務を経験後、福住で地域PR会社を設立し、ITを駆使した地域資源のPRや移住コーディネートに従事。その他、ベトナムの市場開拓事業をリモートで行っている。

民 産 PR リモートワーク



井口 元さん
株式会社ニュービレッジ計画
発起人

大阪府生まれ。大学卒業後、医療業界専門のweb制作会社を経て、2012年に丹波市へ1ターン。丹波市初となるシェアハウス運営や丹波市の移住相談窓口運営業務の受託等を行う。2018年に三人で株式会社ニュービレッジ計画を設立。web制作、チラシ作成、写真・動画撮影等のデザイン制作を行っている。

産 IT デザイン

テーマIII 地域発イノベーションの世界的動向 ~アメリカ・ドイツの先例に学ぶ~

コーディネーター



梅村 仁
大阪経済大学経済学部教授、中小企業・経営研究所長、博士(創造都市)
日本計画行政学会関西支部支部長、日本地方自治研究学会関西支部支部長、東京都港区中小企業振興審議会会長

専門は地域産業論、中小企業政策、地域活性化のための自治体政策やソーシャル・イノベーションについて、数あるフィールドワークを通じた実証的研究に取り組んでいる。



ケビン・ジョンソンさん
ポートランド市振興局
プログラム・マネージャ

米国ワシントン州立エバグリーン大学卒。1986年ワシントン州政府派遣により兵庫県勤務。2005年より現職。日本との交流を通じた起業家支援プログラム「ジャパンイニシアティブ」責任者を務め、様々な分野でのB2Bネットワーク構築を目指す。

官 起業家支援



アンナ・シュラーデさん
関西学院大学産業研究所
准教授

ドイツ生まれ。英国オックスフォード大学大学院にて歴史を専攻し、2017年博士号取得。研究分野：欧州統合論、労働、起業。2018年4月～現職。EU共同プログラムのもと、ドイツと日本の近郊農村の活性化について調査研究。

学 地域活性化